

平成28年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査
調査媒体：水質(ng/L)
地方公共団体：大阪市
調査地点：大川毛馬橋（大阪市）

調査対象物質	測定値(評価値)	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[6] <i>o</i> -(2,6-ジクロロアニリノ)フェニル酢酸 (別名:ジクロフェナク)	2.8	0.12	0.17
[7] (1 <i>S</i> ,4 <i>S</i>)-4-(3,4-ジクロロフェニル)- <i>N</i> -メチル-1,2,3,4-テトラヒドロナフタレン-1-アミン (別名:セルトラリン)	0.34	0.17	0.44
[8] 5,5-ジフェニル-2,4-イミダゾリジンジオン (別名:フェニトイン)	nd	1.7	2.1
[15] (3 <i>S</i> ,4 <i>R</i>)-3-[(2 <i>H</i> -1,3-ベンゾジオキシル-5-イルオキシ)メチル]-4-(4-フルオロフェニル)ピペリジン (別名:パロキセチン)	nd	0.28	0.65

(注1) nd：不検出

(注2)：参考値（調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない）